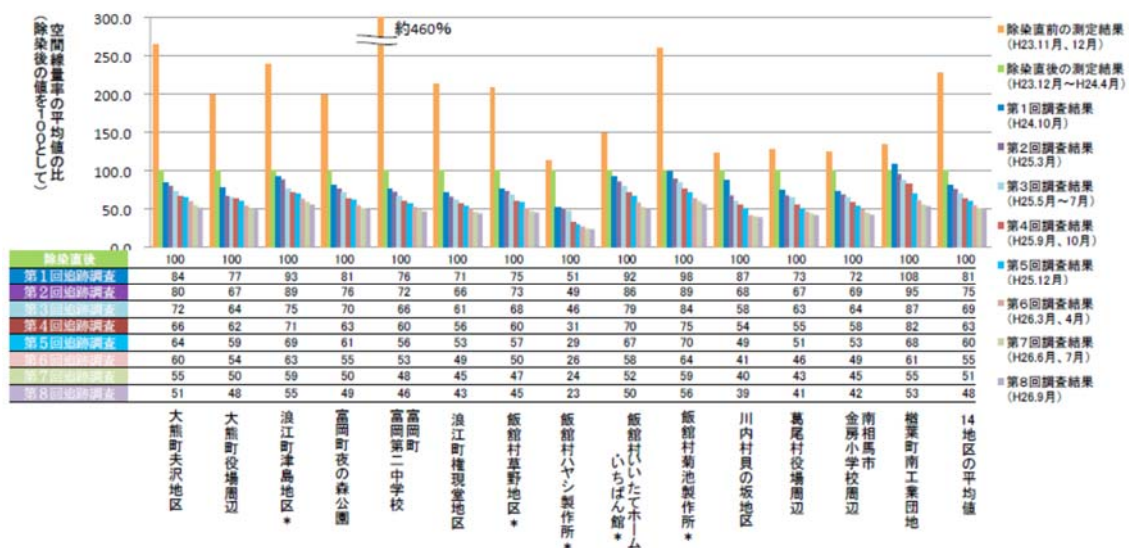


QA5 除染してもまた放射線量が上がってしまうことがあるのですか

除染実施後の空間線量率の推移を把握し、除染効果が維持されているかどうか確認するため、平成23年度に除染モデル実証事業を実施した地区のうち、14地区を対象に空間線量率を追跡調査し、除染直後と比較した結果は以下のようになっています。

○除染直後の空間線量率を100とした場合の空間線量率の平均値の推移を示すと下図のとおり（除染前の空間線量が高い地域を左から順に並べている。）。



*：浪江町津島地区及び飯館村の除染直後の測定結果については、積雪の影響を受けて測定値が低めとなっている可能性があります。

注1)測定値は、降雨／降雪、気温などの気象条件、地面の潤滑状態や草木の繁茂状態などの環境条件により変動することがあります。
注2)除染直後の測定から第8回の追跡調査までは2年半程度経過しており、その間に放射性セシウムに起因する線量率は物理減衰により40%程度の低減が見込まれます。

この結果、除染実施後から直近の調査までの空間線量率の推移をみると、全ての地区で空間線量率の平均値が減少しており、除染の効果はおおむね維持されていることがわかりました。

14地区の平均値で見ると、除染モデル実証事業により空間線量率が6割程度減少していました。更に今回の調査により、その後の約2年半程度で、除染直後に比べ空間線量率が約50%減少していたことがわかりました（なお、この期間の放射性セシウムの物理減衰に伴う空間線量率の低減は約40%と見込まれます）。

第1回調査と第8回調査の結果を比較すると、全ての測定点（288点）で空間線量率が減少しており、空間線量率が継続的に上昇しているような測定点は見られませんでした。

その他、田村市における除染実施後の事後モニタリングでも、面的に除染の効果が維持されていることが確認されました。

(http://josen.env.go.jp/area/ex_post_monitoring/tamura.html)

出典：環境省「除染情報サイト」より作成

出典の公開日：2012年10月

本資料への収録日：2012年12月21日

改訂日：2014年3月31日

：2015年3月31日